

調査(2.2.1) A.先行資料

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、公知例等の先行資料調査のために対象出願のクレーム、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、無効資料調査のために対象特許のクレーム、対象製品、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 先行資料調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 先行資料調査に関する実務(例:先行資料調査手法, 無効資料調査手法, 各国特許/文献データベース, 分析手法, IPC・Fターム・FI等の特許分類, 調査会社)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

先行資料調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術, 化学分野をサーチ・抽出する場合は化学の化合物名・分類)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) A.先行資料

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、公知例等の先行資料調査のために対象出願のクレーム、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、無効資料調査のために対象特許のクレーム、対象製品、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 先行資料調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 先行資料調査に関する実務(例:先行資料調査手法, 無効資料調査手法, 各国特許／文献データベース, 分析手法, IPC・Fターム・FI等の特許分類, 調査会社)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

先行資料調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術, 化学分野をサーチ・抽出する場合は化学の化合物名・分類)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) A.先行資料

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、公知例等の先行資料調査のために対象出願のクレーム、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、無効資料調査のために対象特許のクレーム、対象製品、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた、調査結果から係争を和解に導いた、検索結果を元にデータベースを構築した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定の開発テーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2~3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 先行資料調査業務に必要な法律(例:知的財産法、データベースの法的保護、個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 先行資料調査に関する実務(例:先行資料調査手法、無効資料調査手法、各国特許／文献データベース、分析手法、IPC・Fターム・FI等の特許分類、調査会社)の専門的な事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

先行資料調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術、化学分野をサーチ・抽出する場合は化学の化合物名・分類)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60~70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60~70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) A.先行資料

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、公知例等の先行資料調査のために対象出願のクレーム、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、無効資料調査のために対象特許のクレーム、対象製品、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた、調査結果から係争を和解に導いた、検索結果を元にデータベースを構築した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 担当事業分野の特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 先行資料調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 先行資料調査に関する実務(例:先行資料調査手法, 無効資料調査手法, 各国特許／文献データベース, 分析手法, IPC・Fターム・FI等の特許分類, 調査会社)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

先行資料調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術, 化学分野をサーチ・抽出する場合は化学の化合物名・分類)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60~70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60~70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) A.先行資料

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、公知例等の先行資料調査のために対象出願のクレーム、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、無効資料調査のために対象特許のクレーム、対象製品、対象技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:調査結果から他社権利排除に結びついた、調査結果から係争を和解に導いた、検索結果を元にデータベースを構築した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 先行資料調査業務に必要な法律(例:知的財産法、データベースの法的保護、個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 先行資料調査に関する実務(例:先行資料調査手法、無効資料調査手法、各国特許／文献データベース、分析手法、IPC・Fターム・FI等の特許分類、調査会社)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

先行資料調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術、化学分野をサーチ・抽出する場合は化学の化合物名・分類)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) B.他社権利

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、パテントクリアランスのために対象製品技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、競合他社の新着公報(公開・公表・特許公報等)を監視を適切に行った(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 他者権利調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 他社権利調査に関する実務(例:パテントクリアランス, 新着公報監視方法, データベース, 調査手法, 分析手法, 特許分類, 調査会社)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) B.他社権利

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、パテントクリアランスのために対象製品技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、競合他社の新着公報(公開・公表・特許公報等)を監視を適切に行った(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 他社権利調査に関する実務(例:パテントクリアランス, 新着公報監視方法, データベース, 調査手法, 分析手法, 特許分類, 調査会社)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

他社権利調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) B.他社権利

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、パテントクリアランスのために対象製品技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、競合他社の新着公報(公開・公表・特許公報等)を監視を適切に行った(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、自社製品には無い新技術や改良技術を発見し、関係する当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定の開発テーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他者権利調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 他社権利調査に関する実務(例:パテントクリアランス, 新着公報監視方法, データベース, 調査手法, 分析手法, 特許分類, 調査会社)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

他社権利調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) B.他社権利

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、パテントクリアランスのために対象製品技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、競合他社の新着公報(公開・公表・特許公報等)を監視を適切に行った(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、自社製品には無い新技術や改良技術を発見し、関係する当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 担当事業分野の特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 他者権利調査業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 他社権利調査に関する実務(例:パテントクリアランス, 新着公報監視方法, データベース, 調査手法, 分析手法, 特許分類, 調査会社)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

他社権利調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) B.他社権利

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、パテントクリアランスのために対象製品技術等の調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
2. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、競合他社の新着公報(公開・公表・特許公報等)を監視を適切に行った(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、自社製品には無い新技術や改良技術を発見し、関係する当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、あるいは特許部門での情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 他者権利調査業務に必要な法律(例:知的財産法、データベースの法的保護等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 他社権利調査に関する実務(例:パテントクリアランス、新着公報監視方法、データベース、調査手法、分析手法、特許分類、調査会社)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

他社権利調査関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報、外国語データベース)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) C.パテントマップ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、自社の特許情報を収集し作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
2. 他社の特許情報を収集し、作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソース(例:調査会社、社外システム)を活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. パテントマップ関連業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. パテントマップに関する実務(例:ポートフォリオ分析ツール, パテントマップツール, IPC・Fターム・FI等の特許分類)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

パテントマップ関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の技術動向、具体的な技術内容)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:作成依頼の目的)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) C.パテントマップ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、自社の特許情報を収集し作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC、Fターム、FI、独自分類記号等に分類し整理し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する))。
2. 他社の特許情報を収集し、作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC、Fターム、FI、独自分類記号等に分類し整理し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する))。
3. 上記について、適切なアウトソース(例:調査会社、社外システム)を活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. パテントマップ関連業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. パテントマップに関する実務(例:ポートフォリオ分析ツール, パテントマップツール, IPC・Fターム・FI等の特許分類)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

パテントマップ関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の技術動向、具体的な技術内容)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:自己の専門分野のプレゼンテーション)。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:作成依頼の目的)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) C.パテントマップ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、自社の特許情報を収集し作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
2. 他社の特許情報を収集し、作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソース(例:調査会社、社外システム)を活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:自社の主要な特許について作成したパテントマップが参考資料として戦略に生かされた、知財戦略に基づき作成した主たる競合企業のパテントマップから得た技術情報について技術部門等に伝えた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定の開発テーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2~3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. パテントマップ関連業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. パテントマップに関する実務(例:ポートフォリオ分析ツール, パテントマップツール, IPC・Fターム・FI等の特許分類)の専門的な事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

パテントマップ関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の技術動向、具体的な技術内容)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を概ね(例:60~70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60~70%程度)伝達することができる(例:自己の専門分野のプレゼンテーション)。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:作成依頼の目的)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) C.パテントマップ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、自社の特許情報を収集し作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
2. 他社の特許情報を収集し、作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソース(例:調査会社、社外システム)を活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:自社の主要な特許について作成したパテントマップが参考資料として戦略に生かされた, 知財戦略に基づき作成した主たる競合企業のパテントマップから得た技術情報について技術部門等に伝えた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 当事業分野の特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. パテントマップ関連業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. パテントマップに関する実務(例:ポートフォリオ分析ツール, パテントマップツール, IPC・Fターム・FI等の特許分類)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

パテントマップ関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の技術動向、具体的な技術内容)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:自己の専門分野のプレゼンテーション)。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:作成依頼の目的)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

調査(2.2.1) C.パテントマップ

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略・研究開発戦略に沿って、自社の特許情報を収集し作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
2. 他社の特許情報を収集し、作成内容及び範囲を適確に把握し、適切な作成ツールを利用して定量的・定性的に加工(例:製品に使われている技術を分類し、関連するIPC, Fターム, FI, 独自分類記号等に分類し整理)し、期限内にパテントマップを作成した(反復性を要する)。
3. 上記について、適切なアウトソース(例:調査会社、社外システム)を活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:自社の主要な特許について作成したパテントマップが参考資料として戦略に生かされた、知財戦略に基づき作成した主たる競合企業のパテントマップから得た技術情報について技術部門等に伝えた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 特定の開発テーマ(将来のものを含む)全体について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4~5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. パテントマップ関連業務に必要な法律(例:知的財産法, データベースの法的保護, 個人情報保護法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. パテントマップに関する実務(例:ポートフォリオ分析ツール, パテントマップツール, IPC・Fターム・FI等の特許分類)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

パテントマップ関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の技術動向、具体的な技術内容)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:外国公報, 外国語データベース)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:自己の専門分野のプレゼンテーション)。

⑥対人

1. 関係者(例:依頼者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:依頼者)の説明(例:作成依頼の目的)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:依頼者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:依頼者)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集/分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画/実施(ラボノートの作成を含む)/評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画/実施/評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等, 外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許, 特許法の新規性・進歩性に関する審査基準, 創造技法, 社内の発明評価基準, 知財部・特許事務所の役割)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラボノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等, 外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許, 特許法の新規性・進歩性に関する審査基準, 創造技法, 社内の発明評価基準, 知財部・特許事務所の役割)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラボノート作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラボノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) A.研究・開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する先願特許(出願中のものを含む)の情報を収集／分析し、その侵害を回避する研究・開発の企画／実施(ラボノートの作成を含む)／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略(例:特許群の形成、標準化戦略)に従って高品質な特許の権利確保を積極的に推進した(例:複数のメンバが所属する研究開発プロジェクトのマネジメント、発表論文やプレゼン資料等の研究開発成果物の事前チェック)。
3. 自己の研究・開発担当分野について発明発掘会議の企画／実施／評価を成功裡に行った。
4. 特定の研究・開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した、発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 研究・開発業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限等、外国法と日本法との差異・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 研究・開発に関する実務(例:先願特許、特許法の新規性・進歩性に関する審査基準、創造技法、社内の発明評価基準、知財部・特許事務所の役割)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

研究・開発関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:英語の特許文献)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる(例:発明の本質に導いてくための論理的な議論ができる)。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集/分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画/実施/評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠, 部分意匠・関連意匠, 審査基準)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠, 部分意匠・関連意匠, 審査基準)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠、部分意匠・関連意匠、審査基準)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠、部分意匠・関連意匠、審査基準)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) B.デザイン開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、自己の担当するデザイン分野に関する先願意匠権に関する情報を収集／分析し、その侵害を回避するデザイン開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の意匠出願戦略(例:部分意匠出願戦略、関連意匠出願戦略)に従って高品質な意匠の権利確保を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:知的財産部門と連携し、他社権利の侵害を回避するデザインを開発した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. デザイン開発業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. デザイン開発に関する実務(例:先願意匠、部分意匠、関連意匠、審査基準)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者(例:知的財産担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:知的財産担当者)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画/実施/評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー/弁護士/公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された。[必須]
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2~3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の専門的な事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を概ね(例:60~70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権, 肖像権, プライバシー権, パブリシティ権, 特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された。〔必須〕
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

知的創造(2.2.2) C.コンテンツ開発

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に沿って、自己の制作担当分野に関する他者の権利(例:著作権、肖像権、プライバシー権、パブリシティ権、特許権等)の侵害を回避するコンテンツ開発の企画／実施／評価を成功裡に行った。
2. 自社の知的財産戦略・コンテンツ開発戦略に従って高品質なコンテンツ開発を積極的に推進した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された。〔必須〕
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツ／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. コンテンツ開発業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. コンテンツ開発に関する実務の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

コンテンツ開発関連業務に必要な技術(例:デジタル著作権管理技術)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:コンテンツ)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:プロデューサー／弁護士／公認会計士)と連携し、協働できる。
3. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画/作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施/評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析/改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を正確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ, 実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法、不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース、審査基準、ネーミング手法)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60～70%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法、不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース、審査基準、ネーミング手法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 先輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法、不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース、審査基準、ネーミング手法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画/実施(発明者の確定作業も含む)/評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)/抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か/出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準, 営業秘密, ポートフォリオ, 創造技法)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の初歩的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針, ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準, 営業秘密, ポートフォリオ, 創造技法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の基本的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画/制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答/助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画/基準作成/評価を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権,肖像権,パブリシティ権)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口,著作権管理事業者が公表しているデータベース,対価算定)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。[必須]
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例:制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例:制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4~5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権、肖像権、パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口、著作権管理事業者が公表しているデータベース、対価算定)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例:制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画/実施(創作者の確定作業も含む)/評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社/他社製品の過去のデザイン)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例: 特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(創作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 意匠権等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例: 審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 開発部門)から円滑に情報収集ができる(例: 創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例: 開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。

2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(創作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。

3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。

4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。

5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。

7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。

8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。

9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源流段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**

2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。

3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。

2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。

3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

4. 社内講師を担当した。

5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。

7. 社外委員会にメンバーとして参加した。

8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。

2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。

2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。

3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。

4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。

6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。

2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(創作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。

3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。

4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。

5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。

7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。

8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。

9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**

2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。

3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**

2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。

3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。

4. 社内講師を担当した。

5. 社内委員会を主導した。

6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。

7. 社外委員会に会社代表として参加した。

8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。

2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。

2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準、意匠データベース、デザインマップ、自社／他社製品の過去のデザイン)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。

2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。

2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。

3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。

4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。

6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(創作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源流段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4~5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

委託・共同研究(2. 2. 4) A.研究・開発委託

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、研究/開発/制作に関して委託契約の条件(例:委託先既保有技術の確認、委託成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 委託先との債務不履行/契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、委託先と調整を行い、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 研究・開発委託業務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 研究・開発委託に関する実務(例:研究・開発関連の契約書)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

研究・開発委託関連業務に必要な技術(例:委託テーマの技術内容)の初歩的な事項を理解することができる(例:先行技術と自己の発明の共通点・相違点を明確化できる)。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:委託先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:委託先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:委託先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

委託・共同研究(2. 2. 4) A.研究・開発委託

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、研究／開発／制作に関して委託契約の条件(例:委託先既保有技術の確認、委託成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 委託先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、委託先と調整を行い、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発委託業務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 研究・開発委託に関する実務(例:研究・開発関連の契約書)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

研究・開発委託関連業務に必要な技術(例:委託テーマの技術内容)の基本的な事項を理解することができる(例:先行技術と自己の発明の共通点・相違点を明確化できる)。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:委託先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:委託先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:委託先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

委託・共同研究(2.2.4) A.研究・開発委託

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、研究／開発／制作に関して委託契約の条件(例:委託先既保有技術の確認、委託成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 委託先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、委託先と調整を行い、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 研究・開発委託業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 研究・開発委託に関する実務(例:研究・開発委託関連の契約書)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

研究・開発委託関連業務に必要な技術(例:委託テーマの技術内容)の専門的な事項を理解することができる(例:先行技術と自己の発明の共通点・相違点を明確化できる)。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:委託先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:委託先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:委託先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:委託先)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

委託・共同研究(2. 2. 4) A.研究・開発委託

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、研究／開発／制作に関して委託契約の条件(例:委託先既保有技術の確認、委託成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 委託先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、委託先と調整を行い、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 研究・開発委託業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 研究・開発委託に関する実務(例:研究・開発関連の契約書)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

研究・開発委託関連業務に必要な技術(例:委託テーマの技術内容)の専門的な事項を理解することができる(例:先行技術と自己の発明の共通点・相違点を明確化できる)。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:委託先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:委託先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:委託先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:委託先)を納得させることができる。

⑦その他

委託・共同研究(2. 2. 4) A.研究・開発委託

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、研究／開発／制作に関して委託契約の条件(例:委託先既保有技術の確認、委託成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 委託先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、委託先と調整を行い、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 研究・開発委託業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 研究・開発委託に関する実務(例:研究・開発関連の契約書)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

研究・開発委託関連業務に必要な技術(例:委託テーマの技術内容)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる(例:先行技術と自己の発明の共通点・相違点を明確化できる)。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:委託先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:委託先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:委託先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:委託先)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

委託・共同研究(2. 2. 4) B.共同研究

業績評価指標	業務遂行能力評価指標
<p>以下の条件の実績と経験を有する。</p> <p>①責任性 補助者/メンバーとして対応</p> <p>②複雑性 以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度10%以上)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、共同研究契約の条件(例:相手先既保有技術の確認、研究成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。2. 共同研究の相手先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、相手先と調整し、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。 <p>③重要性</p> <p>④社内外貢献 以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 質問に対して適切な回答／助言を行った。2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。 <p>⑤その他</p>	<p>以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)</p> <p>①事業 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。</p> <p>②法律</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究業務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。 <p>③実務</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究に関する実務(例:共同研究契約書)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20～30%程度)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。 <p>④技術 共同研究関連業務に必要な技術(例:共同研究テーマの技術内容)の初歩的な事項を理解することができる。</p> <p>⑤語学 対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。</p> <p>⑥対人</p> <ol style="list-style-type: none">1. 関係者(例:共同研究先)から円滑に情報収集ができる。2. 関係者(例:共同研究先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。3. 関係者(例:共同研究先)と連携し、協働できる。4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。 <p>⑦その他 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。</p>

委託・共同研究(2.2.4) B.共同研究

業績評価指標	業務遂行能力評価指標
<p>以下の条件の実績と経験を有する。</p> <p>①責任性 担当者として対応</p> <p>②複雑性 以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、共同研究契約の条件(例:相手先既保有技術の確認、研究成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。2. 共同研究の相手先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、相手先と調整し、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。 <p>③重要性</p> <p>④社内外貢献 以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。4. 社内講師を担当した。5. 社内委員会にメンバーとして参加した。 <p>⑤その他</p>	<p>以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)</p> <p>①事業</p> <ol style="list-style-type: none">1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。 <p>②法律</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究業務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。 <p>③実務</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究に関する実務(例:共同研究契約書)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。 <p>④技術 共同研究関連業務に必要な技術(例:共同研究テーマの技術内容)の基本的な事項を理解することができる。</p> <p>⑤語学 対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。</p> <p>⑥対人</p> <ol style="list-style-type: none">1. 関係者(例:共同研究先)から円滑に情報収集ができる。2. 関係者(例:共同研究先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。3. 関係者(例:共同研究先)と連携し、協働できる。4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。 <p>⑦その他 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。</p>

委託・共同研究(2.2.4) B.共同研究

業績評価指標	業務遂行能力評価指標
<p>以下の条件の実績と経験を有する。</p> <p>①責任性 (部分的な)主担当者として対応</p> <p>②複雑性 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、共同研究契約の条件(例:相手先既保有技術の確認、研究成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。2. 共同研究の相手先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、相手先と調整し、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。 <p>③重要性 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。[必須]2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。 <p>④社内外貢献 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。4. 社内講師を担当した。5. 社内委員会にメンバーとして参加した。6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。7. 社外委員会にメンバーとして参加した。8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。 <p>⑤その他</p>	<p>以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)</p> <p>①事業</p> <ol style="list-style-type: none">1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。 <p>②法律</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。 <p>③実務</p> <ol style="list-style-type: none">1. 共同研究に関する実務(例:共同研究契約書)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。 <p>④技術 共同研究関連業務に必要な技術(例:共同研究テーマの技術内容)の専門的な事項を理解することができる。</p> <p>⑤語学 対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。</p> <p>⑥対人</p> <ol style="list-style-type: none">1. 関係者(例:共同研究先)から円滑に情報収集ができる。2. 関係者(例:共同研究先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。3. 関係者(例:共同研究先)と連携し、協働できる。4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。5. 関係者(例:共同研究先)を納得させることができる。 <p>⑦その他 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。</p>

委託・共同研究(2.2.4) B.共同研究

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略に沿って、共同研究契約の条件(例:相手先既保有技術の確認、研究成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。
2. 共同研究の相手先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、相手先と調整し、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 共同研究業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 共同研究に関する実務(例:共同研究契約書)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

共同研究関連業務に必要な技術(例:共同研究テーマの技術内容)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:共同研究先)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:共同研究先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:共同研究先)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:共同研究先)を納得させることができる。

⑦その他

委託・共同研究(2.2.4) B.共同研究

業績評価指標	業務遂行能力評価指標
<p>以下の条件の実績と経験を有する。</p> <p>①責任性 総括責任者として対応</p> <p>②複雑性 以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業戦略・研究開発戦略に沿って、共同研究契約の条件(例:相手先既保有技術の確認、研究成果の取り扱い)の交渉を行い、合意に至った。 共同研究の相手先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:進捗が思わしくない)について、相手先と調整し、解決に導いた(例:実現可能なスケジュールに修正)。 <p>③重要性 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:トラブルをwin-winの観点で解決した)。[必須] 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。 <p>④社内外貢献 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須] 質問に対して適切な回答／助言を行った。 社内講師を担当した。 社内委員会を主導した。 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。 社外委員会に主査的立場で参加した。 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。 <p>⑤その他</p>	<p>以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)</p> <p>①事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。 <p>②法律</p> <ol style="list-style-type: none"> 共同研究業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。 <p>③実務</p> <ol style="list-style-type: none"> 共同研究に関する実務(例:共同研究契約書)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。 <p>④技術 共同研究関連業務に必要な技術(例:共同研究テーマの技術内容)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。</p> <p>⑤語学 対象案件が外国機関の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思(例:委託内容、進捗管理、成果の確認、評価結果)を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。</p> <p>⑥対人</p> <ol style="list-style-type: none"> 関係者(例:共同研究先)から円滑に情報収集ができる。 関係者(例:共同研究先)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。 関係者(例:共同研究先)と連携し、協働できる。 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。 関係者(例:共同研究先)を納得させることができる。 <p>⑦その他 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。</p>

ブランド保護(2.2.5) A.商標権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 商標出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った商標出願書類を起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 特許庁からの要求に対し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った対応書類(意見書/手続補正書/手続補完書)の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案/作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:早期審査制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. ブランド戦略・商標出願戦略に従って事案が複雑な外国出願書類を起案/作成し、権利を取得した(反復性を要する)。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 商標権利化業務に必要な法律(例:国内外の知的財産法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 商標権利化に関する実務(例:先行商標調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミング部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミング部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) A.商標権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 商標出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った商標出願書類を起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 特許庁からの要求に対し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った対応書類(意見書/手続補正書/手続補完書)の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案/作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:早期審査制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を迫行した。
7. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. ブランド戦略・商標出願戦略に従って事案が複雑な外国出願書類を起案/作成し、権利を取得した(反復性を要する)。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 商標権利化業務に必要な法律(例:国内外の知的財産法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 商標権利化に関する実務(例:先行商標調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミング部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミング部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) A.商標権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 商標出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った商標出願書類を起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 特許庁からの要求に対し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った対応書類(意見書／手続補正書／手続補完書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:早期審査制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. ブランド戦略・商標出願戦略に従って事案が複雑な外国出願書類を起案／作成し、権利を取得した(反復性を要する)。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 商標権利化業務に必要な法律(例:国内外の知的財産法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 商標権利化に関する実務(例:先行商標調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミング部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミング部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミング部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) A.商標権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 商標出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った商標出願書類を起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 特許庁からの要求に対し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った対応書類(意見書／手続補正書／手続補完書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:早期審査制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. ブランド戦略・商標出願戦略に従って事案が複雑な外国出願書類を起案／作成し、権利を取得した(反復性を要する)。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した, 意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 商標権利化業務に必要な法律(例:国内外の知的財産法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 商標権利化に関する実務(例:先行商標調査手法, 審査基準, 出願書類作成方法, 中間処理, 審判手続)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミング部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミング部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミング部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) A.商標権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 商標出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った商標出願書類を起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 特許庁からの要求に対し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った対応書類(意見書／手続補正書／手続補完書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. ブランド戦略・商標出願戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:早期審査制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を迫行した。
7. ブランド戦略・商標出願戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. ブランド戦略・商標出願戦略に従って事案が複雑な外国出願書類を起案／作成し、権利を取得した(反復性を要する)。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、ブランド戦略・商標出願戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した, 意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 商標権利化業務に必要な法律(例:国内外の知的財産法)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 商標権利化に関する実務(例:先行商標調査手法, 審査基準, 出願書類作成方法, 中間処理, 審判手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミング部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミング部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミング部門、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミング部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願/電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 更新管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する更新料等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 商標事務に必要な法律(例:商標法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 商標事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:商標担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:商標担当者、特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) B.事務

業績評価指標

業務遂行能力評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願/電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 更新管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する更新料等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 商標事務に必要な法律(例:商標法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 商標事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:商標担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:商標担当者、特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 更新管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に行った。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する更新料等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 商標事務に必要な法律(例:商標法における手続に関する規定、施行令、登録令、施行規則、様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 商標事務に関する実務(例:方式審査便覧、事務手続)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター、外国語データベース)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:商標担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:商標担当者、特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:商標担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 更新管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する更新料等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 商標事務に必要な法律(例:商標法における手続に関する規定、施行令、登録令、施行規則、様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 商標事務に関する実務(例:方式審査便覧、事務手続)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター、外国語データベース)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:コレポングができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:商標担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:商標担当者、特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:商標担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

ブランド保護(2.2.5) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 更新管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に行った。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する更新料等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。[必須]
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 商標事務に必要な法律(例:商標法における手続に関する規定、施行令、登録令、施行規則、様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 商標事務に関する実務(例:方式審査便覧、事務手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター、外国語データベース)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:商標担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:商標担当者、特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:商標担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) A.国内特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 国内特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った審査請求の判断を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
5. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案/作成を適切に行った。
6. 各種制度(例:国内優先権制度/関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶査定不服審判請求を追求した。
8. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社の特許戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 自社の特許戦略に従って、早期権利化(例:早期審査請求、面接の活用)を行った。
11. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、戦略に基づいて権利化の要否や方針を判断できる。

②法律

1. 国内特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限、出願、権利化に関する法令等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 国内特許権利化に関する実務(例:審査基準、中間処理、審判手続、審査官の特徴、特許庁の方針)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

国内特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の初歩的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる。担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、審査官)の説明(例:発明のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

1. 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。
2. 適切な日本語で発明(考案)の内容を適確に表現することができる。

技術保護(2. 2. 6) A.国内特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 国内特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った審査請求の判断を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
5. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
6. 各種制度(例:国内優先権制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社の特許戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 自社の特許戦略に従って、早期権利化(例:早期審査請求、面接の活用)を行った。
11. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、戦略に基づいて権利化の要否や方針を判断できる。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限、出願、権利化に関する法令等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 国内特許権利化に関する実務(例:審査基準、中間処理、審判手続、審査官の特徴、特許庁の方針)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

国内特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の基本的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる。担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、審査官)の説明(例:発明のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

1. 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。
2. 適切な日本語で発明(考案)の内容を適確に表現することができる。

技術保護(2.2.6) A.国内特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 国内特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った審査請求の判断を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
5. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
6. 各種制度(例:国内優先権制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社の特許戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 自社の特許戦略に従って、早期権利化(例:早期審査請求、面接の活用)を行った。
11. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い、戦略上重要テーマのコア発明について独占性の高い特許を取得した、少なくとも3テーマ／年以上につき、権利化戦略の立案と特許網を形成する特許(実用新案)明細書群を作成した、少なくとも1テーマ／年以上につき、戦略上必要な特許請求の範囲群の構想策定とそれらにより特許を取得するための意見書／補正書の作成／審判請求を行った)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、戦略に基づいて権利化の要否や方針を判断でき、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限、出願、権利化に関する法令等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 国内特許権利化に関する実務(例:審査基準、中間処理、審判手続、審査官の特徴、特許庁の方針)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

国内特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の専門的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる。担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、審査官)の説明(例:発明のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

1. 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。
2. 適切な日本語で発明(考案)の内容を適確に表現することができる。

技術保護(2.2.6) A.国内特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 国内特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った審査請求の判断を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
5. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
6. 各種制度(例:国内優先権制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社の特許戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 自社の特許戦略に従って、早期権利化(例:早期審査請求、面接の活用)を行った。
11. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い、戦略上重要テーマのコア発明について独占性の高い特許を取得した、少なくとも3テーマ／年以上につき、権利化戦略の立案と特許網を形成する特許(実用新案)明細書群を作成した、少なくとも1テーマ／年以上につき、戦略上必要な特許請求の範囲群の構想策定とそれらにより特許を取得するための意見書／補正書の作成／審判請求を行った)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、戦略に基づいて権利化の要否や方針を判断でき、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 国内特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限、出願、権利化に関する法令等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 国内特許権利化に関する実務(例:審査基準、中間処理、審判手続、審査官の特徴、特許庁の方針)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

国内特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる。担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、審査官)の説明(例:発明のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

1. 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。
2. 適切な日本語で発明(考案)の内容を適確に表現することができる。

技術保護(2.2.6) A.国内特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 国内特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った審査請求の判断を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
5. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
6. 各種制度(例:国内優先権制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
9. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社の特許戦略に沿った主張を行い納得を得た。
10. 自社の特許戦略に従って、早期権利化(例:早期審査請求、面接の活用)を行った。
11. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い、戦略上重要テーマのコア発明について独占性の高い特許を取得した、少なくとも3テーマ／年以上につき、権利化戦略の立案と特許網を形成する特許(実用新案)明細書群を作成した、少なくとも1テーマ／年以上につき、戦略上必要な特許請求の範囲群の構想策定とそれらにより特許を取得するための意見書／補正書の作成／審判請求を行った)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、戦略に基づいて権利化の要否や方針を判断でき、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 国内特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:特許法の新規性・進歩性・法定期限、出願、権利化に関する法令等)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 国内特許権利化に関する実務(例:審査基準、中間処理、審判手続、審査官の特徴、特許庁の方針)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

国内特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる。担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、審査官)の説明(例:発明のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

1. 複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。
2. 適切な日本語で発明(考案)の内容を適確に表現することができる。

技術保護(2.2.6) B.外国特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 外国特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書(例:英文明細書)の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案/作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:パリ優先権制度/PCT出願制度/関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶に対する不服申立手続を追行した。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な権利化の為に訴訟を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、早期権利化を行った。
9. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 外国特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:米国特許法, 欧州特許法)・法改正情報・判例・条約(例:パリ条約, 特許協力条約)の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 外国特許権利化に関する実務(例:各国審査基準, 現地代理人, 出願形式, 審査官の特徴, 特許庁の方針)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

外国特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術, 他社特許)の初歩的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる, 担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる, 各国で主流となっている製品の仕様が異なる場合のその技術的な相違を理解できる)。

⑤語学

外国語(例:英語, 中国語, 韓国語, ドイツ語, フランス語等)の情報(例:英語の特許文献, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:明細書の翻訳ドラフトを作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者, 海外代理人)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者, 海外代理人)の説明(例:発明のポイント, 海外代理人の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門, 海外代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) B.外国特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 外国特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書(例:英文明細書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:パリ優先権制度／PCT出願制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶に対する不服申立手続を追求した。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な権利化の為に訴訟を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、早期権利化を行った。
9. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:米国特許法, 欧州特許法)・法改正情報・判例・条約(例:パリ条約, 特許協力条約)の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 外国特許権利化に関する実務(例:各国審査基準, 現地代理人, 出願形式, 審査官の特徴, 特許庁の方針)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

外国特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術, 他社特許)の基本的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる, 担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる, 各国で主流となっている製品の仕様が異なる場合のその技術的な相違を理解できる)。

⑤語学

外国語(例:英語, 中国語, 韓国語, ドイツ語, フランス語等)の情報(例:英語の特許文献, 外国語データベース)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:明細書の翻訳ドラフトを作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者, 海外代理人)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者, 海外代理人)の説明(例:発明のポイント, 海外代理人の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門, 海外代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) B.外国特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 外国特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書(例:英文明細書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:パリ優先権制度／PCT出願制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶に対する不服申立手続を追究した。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な権利化の為の訴訟を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、早期権利化を行った。
9. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服申立ての成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:米国特許法, 欧州特許法)・法改正情報・判例・条約(例:パリ条約, 特許協力条約)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 外国特許権利化に関する実務(例:各国審査基準, 現地代理人, 出願形式, 審査官の特徴, 特許庁の方針)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

外国特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術, 他社特許)の専門的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる, 担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる, 各国で主流となっている製品の仕様が異なる場合のその技術的な相違を理解できる)。

⑤語学

外国語(例:英語, 中国語, 韓国語, ドイツ語, フランス語等)の情報(例:英語の特許文献, 外国語データベース)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:明細書の翻訳ドラフトを作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者, 海外代理人)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者, 海外代理人)の説明(例:発明のポイント, 海外代理人の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門, 海外代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) B.外国特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 外国特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書(例:英文明細書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:パリ優先権制度／PCT出願制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶に対する不服申立手続を追求した。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な権利化の為に訴訟を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、早期権利化を行った。
9. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服申立ての成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 外国特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:米国特許法, 欧州特許法)・法改正情報・判例・条約(例:パリ条約, 特許協力条約)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 外国特許権利化に関する実務(例:各国審査基準, 現地代理人, 出願形式, 審査官の特徴, 特許庁の方針)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

外国特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術, 他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる, 担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる, 各国で主流となっている製品の仕様異なる場合のその技術的な相違を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる)。

⑤語学

外国語(例:英語, 中国語, 韓国語, ドイツ語, フランス語等)の情報(例:英語の特許文献, 外国語データベース)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:明細書の翻訳ドラフトを作成できる)。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者, 海外代理人)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者, 海外代理人)の説明(例:発明のポイント, 海外代理人の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門, 海外代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) B.外国特許権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 外国特許出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社の特許戦略(例:標準化戦略)に沿った明細書(例:英文明細書)の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社の特許戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社の特許戦略に沿った分割(変更)出願の明細書の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:パリ優先権制度／PCT出願制度／関連出願連携審査)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な拒絶に対する不服申立手続を追行した。
7. 自社の特許戦略に従って、対応が困難な権利化の為の訴訟を遂行した。
8. 自社の特許戦略に従って、早期権利化を行った。
9. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:明細書の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服申立ての成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿って、特許網を構成する明細書群を作成した／特許請求の範囲群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 外国特許権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:米国特許法、欧州特許法)・法改正情報・判例・条約(例:パリ条約、特許協力条約)の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 外国特許権利化に関する実務(例:各国審査基準、現地代理人、出願形式、審査官の特徴、特許庁の方針)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

外国特許権利化関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最新技術、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる、担当部門の主な商品に採用されている技術の動作・原理を説明できる、各国で主流となっている製品の仕様が異なる場合のその技術的な相違を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる)。

⑤語学

外国語(例:英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語等)の情報(例:英語の特許文献)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:明細書の翻訳ドラフトを作成できる)。外国語の文献データベースによって調査できる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明者、海外代理人)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者、海外代理人)の説明(例:発明のポイント、海外代理人の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門、海外代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明者)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) C.国内事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願/電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
7. 補償金の支払/ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例: マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 国内特許事務に必要な法律(例: 特許法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 国内特許事務に関する実務(例: 方式審査便覧, 事務手続)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 特許技術者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例: 特許技術者, 特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2. 2. 6) C.国内事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願/電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
7. 補償金の支払/ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内特許事務に必要な法律(例:特許法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 国内特許事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:特許技術者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:特許技術者, 特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) C.国内事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例: マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 重大な事務処理ミスが発生させなかった)。[必須]
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例: 30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内特許事務に必要な法律(例: 特許法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 国内特許事務に関する実務(例: 方式審査便覧, 事務手続)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を概ね(例: 60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 特許技術者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例: 特許技術者, 特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例: 特許技術者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) C.国内事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例: マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例: 30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 国内特許事務に必要な法律(例: 特許法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 国内特許事務に関する実務(例: 方式審査便覧, 事務手続)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を正しく(例: 80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 特許技術者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例: 特許技術者, 特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例: 特許技術者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) C.国内事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに対応する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 国内特許事務に必要な法律(例:特許法における手続に関する規定、施行令、登録令、施行規則、様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 国内特許事務に関する実務(例:方式審査便覧、事務手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に理解(例:90%程度)することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:特許技術者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:特許技術者、特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:特許技術者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) D.外国事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 出願書類を揃え外国代理人に対して確実に出願事務処理を行った。
2. 各種書類(翻訳文/優先権証明書等)を代理人の依頼に応じて確実に提出した。
3. 年金管理/手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に行った。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理(例:オフィスアクションへの応答)を行った。
7. 補償金の支払/ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 外国特許事務に必要な法律(例:特許権取得, 維持等の手続きに関する外国の関係法, 条約, 実施規則)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 外国特許事務に関する実務(例:外国特許審査便覧, 必要書類(宣誓書等), 出願料, 代理人手数料)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:海外代理人)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2. 2. 6) D.外国事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 出願書類を揃え外国代理人に対して確実に出願事務処理を行った。
2. 各種書類(翻訳文／優先権証明書等)を代理人の依頼に応じて確実に提出した。
3. 年金管理／手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に行った。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理(例:オフィスアクションへの応答)を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国特許事務に必要な法律(例:特許権取得, 維持等の手続きに関する外国の関係法, 条約, 実施規則)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 外国特許事務に関する実務(例:外国特許審査便覧, 必要書類(宣誓書等), 出願料, 代理人手数料)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:海外代理人)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) D.外国事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 出願書類を揃え外国代理人に対して確実に出願事務処理を行った。
2. 各種書類(翻訳文／優先権証明書等)を代理人の依頼に応じて確実に提出した。
3. 年金管理／手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理(例:オフィスアクションへの応答)を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。[必須]
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国特許事務に必要な法律(例:特許権取得、維持等の手続きに関する外国の関係法、条約、実施規則)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 外国特許事務に関する実務(例:外国特許審査便覧、必要書類(宣誓書等)、出願料、代理人手数料)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:海外代理人)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:海外代理人)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) D.外国事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 出願書類を揃え外国代理人に対して確実に出願事務処理を行った。
2. 各種書類(翻訳文／優先権証明書等)を代理人の依頼に応じて確実に提出した。
3. 年金管理／手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理(例:オフィスアクションへの応答)を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任、特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。**[必須]**
2. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 外国特許事務に必要な法律(例:特許権取得、維持等の手続に関する外国の関係法、条約、実施規則)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 外国特許事務に関する実務(例:外国特許審査便覧、必要書類(宣誓書等)、出願料、代理人手数料)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:海外代理人)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:海外代理人)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) D.外国事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 出願書類を揃え外国代理人に対して確実に出願事務処理を行った。
2. 各種書類(翻訳文／優先権証明書等)を代理人の依頼に応じて確実に提出した。
3. 年金管理／手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に行った。
5. 出願に関する資料整理を確実に実行した。
6. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理(例: オフィスアクションへの応答)を行った。
7. 補償金の支払／ロイヤリティの入出金を確実に実行した。
8. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
9. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
10. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
11. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例: マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 当該事務所経由で交渉した結果、ライセンス収入／有利な条件での和解／ロイヤリティ支払額の低減に結びついた)。**[必須]**
2. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 外国特許事務に必要な法律(例: 特許権取得, 維持等の手続きに関する外国の関係法, 条約, 実施規則)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 外国特許事務に関する実務(例: 外国特許審査便覧, 必要書類(宣誓書等), 出願料, 代理人手数料)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(例: 海外代理人からのレター)を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例: 90%程度)伝達することができる(例: コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例: 海外代理人)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例: 海外代理人)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例: 海外代理人)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) E.品種登録申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社戦略に従って品種登録申請書類の起案/作成を行い、権利を取得した。
2. 申請書類を揃え確実に申請事務を遂行した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 自社戦略に従って農水省からの要求に対し、対応書類(例:意見書/手続補正書)の起案/作成/提出を行い、権利を取得した。
5. 自社戦略に従って事案が複雑な拒絶に対する不服申立を行った。
6. 自社戦略に従って外国申請(例:欧州植物新品種保護委員会への申請)を適切に行った。
7. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 品種登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:種苗法等)・法改正情報・判例・条約(例:植物新品種保護国際条約)の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 品種登録申請に関する実務(例:品種登録申請手続、種苗法における手続に関する規定等)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

品種登録申請に必要な技術(例:自社製品の植物の科・属、他社品種)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2. 2. 6) E.品種登録申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社戦略に従って品種登録申請書類の起案／作成を行い、権利を取得した。
2. 申請書類を揃え確実に申請事務を遂行した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 自社戦略に従って農水省からの要求に対し、対応書類(例:意見書／手続補正書)の起案／作成／提出を行い、権利を取得した。
5. 自社戦略に従って事案が複雑な拒絶に対する不服申立を行った。
6. 自社戦略に従って外国申請(例:欧州植物新品種保護委員会への申請)を適切に行った。
7. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 品種登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:種苗法等)・法改正情報・判例・条約(例:植物新品種保護国際条約)の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 品種登録申請に関する実務(例:品種登録申請手続、種苗法における手続に関する規定等)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

品種登録申請に必要な技術(例:自社製品の植物の科・属、他社品種)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:申請書類の作成ができる)。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) E.品種登録申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社戦略に従って品種登録申請書類の起案／作成を行い、権利を取得した。
2. 申請書類を揃え確実に申請事務を遂行した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 自社戦略に従って農水省からの要求に対し、対応書類(例:意見書／手続補正書)の起案／作成／提出を行い、権利を取得した。
5. 自社戦略に従って事案が複雑な拒絶に対する不服申立を行った。
6. 自社戦略に従って外国申請(例:欧州植物新品種保護委員会への申請)を適切に行った。
7. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した、意見書の成功率が高い(例:60%以上)、重大な事務処理ミスが発生させなかった、商品の公開や販売の時期から適切なタイミングで出願した)。
2. 結果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。
4. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 品種登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:種苗法等)・法改正情報・判例・条約(例:植物新品種保護国際条約)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 品種登録申請に関する実務(例:品種登録申請手続、種苗法における手続に関する規定等)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

品種登録申請に必要な技術(例:自社製品の植物の科・属、他社品種)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる(例:申請書類の作成ができる)。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) E.品種登録申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社戦略に従って品種登録申請書類の起案／作成を行い、権利を取得した。
2. 申請書類を揃え確実に申請事務を遂行した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 自社戦略に従って農水省からの要求に対し、対応書類(例:意見書／手続補正書)の起案／作成／提出を行い、権利を取得した。
5. 自社戦略に従って事案が複雑な拒絶に対する不服申立を行った。
6. 自社戦略に従って外国申請(例:欧州植物新品種保護委員会への申請)を適切に行った。
7. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した、意見書の成功率が高い(例:60%以上)、重大な事務処理ミスが発生させなかった、商品の公開や販売の時期から適切なタイミングで出願した)。
2. 結果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。
4. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 品種登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:種苗法等)・法改正情報・判例・条約(例:植物新品種保護国際条約)の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 品種登録申請に関する実務(例:品種登録申請手続、種苗法における手続に関する規定等)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

品種登録申請に必要な技術(例:自社製品の植物の科・属、他社品種)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝達することができる(例:申請書類の作成ができる)。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

技術保護(2.2.6) E.品種登録申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社戦略に従って品種登録申請書類の起案／作成を行い、権利を取得した。
2. 申請書類を揃え確実に申請事務を遂行した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 自社戦略に従って農水省からの要求に対し、対応書類(例:意見書／手続補正書)の起案／作成／提出を行い、権利を取得した。
5. 自社戦略に従って事案が複雑な拒絶に対する不服申立を行った。
6. 自社戦略に従って外国申請(例:欧州植物新品種保護委員会への申請)を適切に行った。
7. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:困難な案件の権利化に成功した、意見書の成功率が高い(例:60%以上)、重大な事務処理ミスが発生させなかった、商品の公開や販売の時期から適切なタイミングで出願した)。
2. 結果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。
4. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 品種登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:種苗法等)・法改正情報・判例・条約(例:植物新品種保護国際条約)の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 品種登録申請に関する実務(例:品種登録申請手続、種苗法における手続に関する規定等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

品種登録申請に必要な技術(例:自社製品の植物の科・属、他社品種)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:申請書類の作成ができる)。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) A.申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 自社のコンテンツ開発戦略に従って公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請を適切に行った(反復性を要する)。
2. 自社のコンテンツ開発戦略に従って著作権管理事業者(例:JASRAC)への管理申請を適切に行った(反復性を要する)。
3. 諸外国(例:米国)での自社コンテンツの保護申請を適切に行った。
4. 著作権以外の権利(例:商標権)での著作物の保護の可能性を検討し、適切に実行した(例:アニメのタイトルの商標登録申請等)。
5. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 著作権申請に関する実務(例:著作権管理事業の信託約款, 国内外の著作権登録手続)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2. 2. 7) A.申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 自社のコンテンツ開発戦略に従って公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請を適切に行った(反復性を要する)。
2. 自社のコンテンツ開発戦略に従って著作権管理事業者(例: JASRAC)への管理申請を適切に行った(反復性を要する)。
3. 諸外国(例:米国)での自社コンテンツの保護申請を適切に行った。
4. 著作権以外の権利(例:商標権)での著作物の保護の可能性を検討し、適切に実行した(例:アニメのタイトルの商標登録申請等)。
5. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 著作権申請に関する実務(例:著作権管理事業の信託約款, 国内外の著作権登録手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) A.申請

業績評価指標

以下の条件についての実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 自社のコンテンツ開発戦略に従って公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請を適切に行った(反復性を要する)。
2. 自社のコンテンツ開発戦略に従って著作権管理事業者(例:JASRAC)への管理申請を適切に行った(反復性を要する)。
3. 諸外国(例:米国)での自社コンテンツの保護申請を適切に行った。
4. 著作権以外の権利(例:商標権)での著作物の保護の可能性を検討し、適切に実行した(例:アニメのタイトルの商標登録申請等)。
5. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。[必須]
2. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 著作権申請に関する実務(例:著作権管理事業の信託約款, 国内外の著作権登録手続)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) A.申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 自社のコンテンツ開発戦略に従って公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請を適切に行った(反復性を要する)。
2. 自社のコンテンツ開発戦略に従って著作権管理事業者(例:JASRAC)への管理申請を適切に行った(反復性を要する)。
3. 諸外国(例:米国)での自社コンテンツの保護申請を適切に行った。
4. 著作権以外の権利(例:商標権)での著作物の保護の可能性を検討し、適切に実行した(例:アニメのタイトルの商標登録申請等)。
5. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 著作権申請に関する実務(例:著作権管理事業の信託約款、国内外の著作権登録手続)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) A.申請

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 自社のコンテンツ開発戦略に従って公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請を適切に行った(反復性を要する)。
2. 自社のコンテンツ開発戦略に従って著作権管理事業者(例:JASRAC)への管理申請を適切に行った(反復性を要する)。
3. 諸外国(例:米国)での自社コンテンツの保護申請を適切に行った。
4. 著作権以外の権利(例:商標権)での著作物の保護の可能性を検討し、適切に実行した(例:アニメのタイトルの商標登録申請等)。
5. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 主力商品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 登録申請業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権法等)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 著作権申請に関する実務(例:著作権管理事業の信託約款, 国内外の著作権登録手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 権利処理のための契約事務(例:必要書類の作成)を確実に実行した(契約担当者と連携して作成する場合を含む)。
2. 公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請・著作権管理事業者への申請書類を揃え確実に申請事務を行った。
3. 手数料の納付等を確実に実行した。
4. ロイヤリティ(例:音楽著作権使用料, 実演家印税, 原盤印税等)の支払を確実に実行した(例:対価の分配を行った)。
5. 著作権登録申請に関する資料整理を確実に実行した。
6. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. コンテンツ保護事務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. コンテンツ保護事務に関する実務(例:著作権管理事業者への申請書式, ロイヤリティ対価の分配, 手数料納付)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:著作権管理団体, 文化庁)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:コンテンツ開発部門, ディレクター, 法務部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 権利処理のための契約事務(例:必要書類の作成)を確実に実行した(契約担当者と連携して作成する場合を含む)。
2. 公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請・著作権管理事業者への申請書類を揃え確実に申請事務を行った。
3. 手数料の納付等を確実に実行した。
4. ロイヤリティ(例:音楽著作権使用料, 実演家印税, 原盤印税等)の支払を確実に実行した(例:対価の分配を行った)。
5. 著作権登録申請に関する資料整理を確実に実行した。
6. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導/助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ保護事務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. コンテンツ保護事務に関する実務(例:著作権管理事業者への申請書式, ロイヤリティ対価の分配, 手数料納付)の基本的な事項(例:重要なもののみ, 実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる(例:コレボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:著作権管理団体, 文化庁)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:コンテンツ開発部門, ディレクター, 法務部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) B.事務

業績評価指標

以下の条件についての実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 権利処理のための契約事務(例:必要書類の作成)を確実に実行した(契約担当者と連携して作成する場合を含む)。
2. 公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請・著作権管理事業者への申請書類を揃え確実に申請事務を行った。
3. 手数料の納付等を確実に実行した。
4. ロイヤリティ(例:音楽著作権使用料, 実演家印税, 原盤印税等)の支払を確実に実行した(例:対価の分配を行った)。
5. 著作権登録申請に関する資料整理を確実に実行した。
6. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。[必須]
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2~3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ保護事務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. コンテンツ保護事務に関する実務(例:著作権管理事業者への申請書式, ロイヤリティ対価の分配, 手数料納付)の専門的な事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を概ね(例:60~70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60~70%程度)伝達することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:著作権管理団体, 文化庁)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:コンテンツ開発部門, ディレクター, 法務部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 権利処理のための契約事務(例:必要書類の作成)を確実に実行した(契約担当者と連携して作成する場合を含む)。
2. 公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請・著作権管理事業者への申請書類を揃え確実に申請事務を行った。
3. 手数料の納付等を確実に実行した。
4. ロイヤリティ(例:音楽著作権使用料, 実演家印税, 原盤印税等)の支払を確実に実行した(例:対価の分配を行った)。
5. 著作権登録申請に関する資料整理を確実に実行した。
6. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. コンテンツ保護事務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. コンテンツ保護事務に関する実務(例:著作権管理事業者への申請書式, ロイヤリティ対価の分配, 手数料納付)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる(例:コロンボンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:著作権管理団体, 文化庁)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:コンテンツ開発部門, ディレクター, 法務部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

コンテンツ保護(2.2.7) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 権利処理のための契約事務(例:必要書類の作成)を確実に実行した(契約担当者と連携して作成する場合を含む)。
2. 公的機関(例:文化庁, SOFTIC)への著作権登録申請・著作権管理事業者への申請書類を揃え確実に申請事務を行った。
3. 手数料の納付等を確実に実行した。
4. ロイヤリティ(例:音楽著作権使用料, 実演家印税, 原盤印税等)の支払を確実に実行した(例:対価の分配を行った)。
5. 著作権登録申請に関する資料整理を確実に実行した。
6. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4~5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. コンテンツ保護事務に必要な法律・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. コンテンツ保護事務に関する実務(例:著作権管理事業者への申請書式, ロイヤリティ対価の分配, 手数料納付)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国申請の場合、外国語(例:英語)の情報(例:海外代理人からのレター)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる(例:コレポンができる)。

⑥対人

1. 関係者(例:著作権管理団体, 文化庁)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:コンテンツ開発部門, ディレクター, 法務部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) A.意匠権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 意匠出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社のデザイン戦略に沿った出願書類の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社のデザイン戦略に沿った意見書・補正書の起案/作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社のデザイン戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案/作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:部分意匠制度、関連意匠制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社のデザイン戦略に沿った主張を行い納得を得た。
9. 自社のデザイン戦略に従って早期権利化(例:早期審査申請、面接の活用)を行った。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 意匠権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 意匠権利化に関する実務(例:先行意匠調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国意匠の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:創作者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:創作者、審査官)の説明(例:創作のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:デザイン開発部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) A.意匠権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 意匠出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社のデザイン戦略に沿った出願書類の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社のデザイン戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社のデザイン戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:部分意匠制度、関連意匠制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社のデザイン戦略に沿った主張を行い納得を得た。
9. 自社のデザイン戦略に従って早期権利化(例:早期審査申請、面接の活用)を行った。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 意匠権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 意匠権利化に関する実務(例:先行意匠調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国意匠の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:創作者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:創作者、審査官)の説明(例:創作のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:デザイン開発部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) A.意匠権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 意匠出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社のデザイン戦略に沿った出願書類の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社のデザイン戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社のデザイン戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:部分意匠制度、関連意匠制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社のデザイン戦略に沿った主張を行い納得を得た。
9. 自社のデザイン戦略に従って早期権利化(例:早期審査申請、面接の活用)を行った。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:出願書類の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った(例:知的財産戦略に沿ってデザイン網を構成する意匠を作成した、知的財産戦略にそってデザイン群の構想策定を行った)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 意匠権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 意匠権利化に関する実務(例:先行意匠調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国意匠の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:創作者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:創作者、審査官)の説明(例:創作のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:デザイン開発部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:創作者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:創作者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) A.意匠権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 意匠出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社のデザイン戦略に沿った出願書類の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社のデザイン戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社のデザイン戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:部分意匠制度、関連意匠制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社のデザイン戦略に沿った主張を行い納得を得た。
9. 自社のデザイン戦略に従って早期権利化(例:早期審査申請、面接の活用)を行った。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:出願書類の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。[必須]
2. 主力製品(将来のものを含む)について行った。重要な特定のテーマについて行った(例:知的財産戦略に沿ってデザイン網を構成する意匠を作成した。知的財産戦略にそってデザイン群の構想策定を行う)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 意匠権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 意匠権利化に関する実務(例:先行意匠調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国意匠の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:創作者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:創作者、審査官)の説明(例:創作のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:デザイン開発部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:創作者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:創作者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) A.意匠権利化

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 意匠出願戦略の立案を成功裡に行った。
2. 自社のデザイン戦略に沿った出願書類の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
3. 自社のデザイン戦略に沿った意見書・補正書の起案／作成を適切に行った(反復性を要する)。
4. 自社のデザイン戦略に沿った分割(変更)出願の書類の起案／作成を適切に行った。
5. 各種制度(例:部分意匠制度、関連意匠制度)の戦略的活用を適切に行った。
6. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な拒絶査定不服審判請求を遂行した。
7. 自社のデザイン戦略に従って対応が困難な審決取消訴訟を遂行した。
8. 事案が複雑な案件について審査官と面接し、自社のデザイン戦略に沿った主張を行い納得を得た。
9. 自社のデザイン戦略に従って早期権利化(例:早期審査申請、面接の活用)を行った。
10. 上記について、適切な弁理士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:出願書類の品質が平均的に高い、困難な案件の権利化に成功した、意見書／不服審判請求の成功率が高い(例:60%以上))。〔必須〕
2. 主力製品(将来のものを含む)について行った。重要な特定のテーマについて行った(例:知的財産戦略に沿ってデザイン網を構成する意匠を作成した。知的財産戦略にそってデザイン群の構想策定を行つ)。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。〔必須〕
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 意匠権利化業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠法等)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例:専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 意匠権利化に関する実務(例:先行意匠調査手法、審査基準、出願書類作成方法、中間処理、審判手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:類否判断ができる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国意匠の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:創作者)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:創作者、審査官)の説明(例:創作のポイント、審査官の見解)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:デザイン開発部門、特許事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:創作者、審査官)を納得させることができる。
6. 関係者(例:創作者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で反復して実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願/電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求/管理等の事務処理を確実に行った。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更/権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 意匠事務に必要な法律(例:意匠法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 意匠事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:意匠担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:意匠担当者, 特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与20%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 意匠事務に必要な法律(例:意匠法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 意匠事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:意匠担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:意匠担当者, 特許事務所)と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 重大な事務処理ミスが発生させなかった)。[必須]
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例: 30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 意匠事務に必要な法律(例: 意匠法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 意匠事務に関する実務(例: 方式審査便覧, 事務手続)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例: 英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例: 60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例: 60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 意匠担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例: 意匠担当者, 特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例: 意匠担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に実行した。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 意匠事務に必要な法律(例:意匠法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 意匠事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:意匠担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:意匠担当者, 特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:意匠担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

デザイン保護(2.2.8) B.事務

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策を複数回、反復して実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 出願書類を揃え確実に出願(書面出願／電子出願)事務を行った。
2. 各種書類をフォーマットに従って期限内に確実に提出した。
3. 年金管理及び手数料の納付等を確実に実行した。
4. 包袋の請求／管理等の事務処理を確実に行った。
5. 事務所と適切な連携を取って確実に事務処理を行った。
6. 名義変更／権利移転の事務処理を確実に実行した。
7. 代理人変更(受任, 特任届)の事務処理を確実に実行した。
8. 共願に関する年金等の請求手続を確実に実行した。
9. 上記について現状を分析し、適切に改善した(例:マニュアルの改訂)。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:重大な事務処理ミスが発生させなかった)。**[必須]**
2. 担当した事務処理の数が会社全体の当該事務処理総数の一定比率(例:30%)以上であった。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 意匠事務に必要な法律(例:意匠法における手続に関する規定, 施行令, 登録令, 施行規則, 様式)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 意匠事務に関する実務(例:方式審査便覧, 事務手続)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国商標の場合において、外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:意匠担当者)の説明を正しく理解することができる。
2. 関係者(例:意匠担当者, 特許事務所)と連携し、協働できる。
3. 関係者(例:意匠担当者)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) A.交渉

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権のライセンスに関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権の譲渡・譲受に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に従って、技術移転に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
4. 契約先との債務不履行/契約条項の解釈をめぐるトラブル(例: 監査を拒む等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
5. ライセンス先との交渉の場を設定(例: 訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
6. 契約の延長/解消/自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 契約交渉業務に必要な法律(例: 特許法, 民法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 契約交渉に関する実務(例: ADR, 交渉術, 市場におけるポジション, ビジネストレンド)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

契約交渉関連業務に必要な技術(例: 担当案件の技術内容)の初歩的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 権利行使のリスク, 交渉状況, 最適な条件)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) A.交渉

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権のライセンスに関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権の譲渡・譲受に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に従って、技術移転に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
4. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例: 監査を拒む等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
5. ライセンス先との交渉の場を設定(例: 訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
6. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 契約交渉業務に必要な法律(例: 特許法, 民法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 契約交渉に関する実務(例: ADR, 交渉術, 市場におけるポジション, ビジネストレンド)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

契約交渉関連業務に必要な技術(例: 担当案件の技術内容)の基本的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例: 50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 権利行使のリスク, 交渉状況, 最適な条件)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) A.交渉

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権のライセンスに関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権の譲渡・譲受に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に従って、技術移転に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
4. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例: 監査を拒む等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
5. ライセンス先との交渉の場を設定(例: 訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
6. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 金額ベースで1000万円以上の交渉を成功させた、交渉を成功させることで事業への影響を未然に防いだ、知的財産権のみならず人的サービスも提供する場合の交渉を成功させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 契約交渉業務に必要な法律(例: 特許法, 民法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 契約交渉に関する実務(例: ADR, 交渉術, 市場におけるポジション, ビジネストレンド)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

契約交渉関連業務に必要な技術(例: 担当案件の技術内容)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を概ね(例: 60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例: 60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 権利行使のリスク, 交渉状況, 最適な条件)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる(例: 不用意な発言をしない, ポーカーフェイスを続けることができる, 臨機応変に対応できる)。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) A.交渉

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権のライセンスに関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権の譲渡・譲受に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に従って、技術移転に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
4. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例: 監査を拒む等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
5. ライセンス先との交渉の場を設定(例: 訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
6. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 金額ベースで1000万円以上の交渉を成功させた、交渉を成功させることで事業への影響を未然に防いだ、知的財産権のみならず人的サービスも提供する場合の交渉を成功させた。[必須])
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。(例: 権利行使適格性のあるクレームの記載方法を自社研究開発部門にフィードバックした)。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 契約交渉業務に必要な法律(例: 特許法, 民法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 契約交渉に関する実務(例: ADR, 交渉術, 市場におけるポジション, ビジネストレンド)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

契約交渉関連業務に必要な技術(例: 担当案件の技術内容)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を正しく(例: 80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例: 80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 権利行使のリスク, 交渉状況, 最適な条件)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる(例: 不用意な発言をしない, ポーカーフェイスを続けることができる, 臨機応変に対応できる)。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) A.交渉

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権のライセンスに関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に従って、知的財産権の譲渡・譲受に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に従って、技術移転に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
4. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:監査を拒む等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
5. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
6. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:金額ベースで1000万円以上の交渉を成功させた、交渉を成功させることで事業への影響を未然に防いだ、知的財産権のみならず人的サービスも提供する場合の交渉を成功させた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 契約交渉業務に必要な法律(例:特許法,民法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 契約交渉に関する実務(例:ADR,交渉術,市場におけるポジション,ビジネストレンド)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

契約交渉関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術内容)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:特許事務所,法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:事業部門)に分かりやすく説明できる(例:製品の対応関係,事業への影響,権利行使のリスク,交渉状況,最適な条件)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる(例:不用意な発言をしない,ポーカーフエースを続けることができる,臨機応変に対応できる)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) B.権利処理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. コンテンツ開発戦略に沿って、著作権・著作隣接権(著作者人格権を含む)の権利処理(例:専属実演家契約, 音源の貸出し, キャラクターの使用)に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 肖像権・パブリシティ権の権利処理に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 契約先との債務不履行/契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:ロイヤリティの支払い等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
4. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
5. 契約の延長/解消/自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 権利処理業務に必要な法律(例:著作権, 著作者隣接権, 肖像権, パブリシティ権等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 権利処理契約に関する実務(例:ADR, 交渉術, 権利団体とその交渉窓口, マネジメント事務所, 専属実演家契約)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方, 法務部)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) B.権利処理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. コンテンツ開発戦略に沿って、著作権・著作隣接権(著作者人格権を含む)の権利処理(例:専属実演家契約、音源の貸出し、キャラクターの使用)に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 肖像権・パブリシティ権の権利処理に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:ロイヤリティの支払い等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
4. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
5. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 権利処理業務に必要な法律(例:著作権、著作者隣接権、肖像権、パブリシティ権等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 権利処理契約に関する実務(例:ADR、交渉術、権利団体とその交渉窓口、マネジメント事務所、専属実演家契約)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、法務部)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) B.権利処理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. コンテンツ開発戦略に沿って、著作権・著作隣接権(著作者人格権を含む)の権利処理(例:専属実演家契約、音源の貸出し、キャラクターの使用)に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 肖像権・パブリシティ権の権利処理に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:ロイヤリティの支払い等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
4. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
5. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:金額ベースで100万円以上の交渉を成功させた、当事者が三者以上の複雑な権利処理を成功させた、事前に漏れなく権利処理を行うことで紛争無く事業をスムーズに展開した、期間設定を適切に行うことで、長期に渡り著作権ライセンス料を徴収できた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力作品(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 権利処理業務に必要な法律(例:著作権, 著作者隣接権, 肖像権, パブリシティ権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 権利処理契約に関する実務(例:ADR, 交渉術, 権利団体とその交渉窓口, マネジメント事務所, 専属実演家契約)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方, 法務部)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例:コンテンツ開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) B.権利処理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. コンテンツ開発戦略に沿って、著作権・著作隣接権(著作者人格権を含む)の権利処理(例:専属実演家契約、音源の貸出し、キャラクターの使用)に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 肖像権・パブリシティ権の権利処理に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:ロイヤリティの支払い等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
4. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
5. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:金額ベースで100万円以上の交渉を成功させた、当事者が三者以上の複雑な権利処理を成功させた、事前に漏れなく権利処理を行うことで紛争無く事業をスムーズに展開した、期間設定を適切に行うことで、長期に渡り著作権ライセンス料を徴収できた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力作品(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3~4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 権利処理業務に必要な法律(例:著作権、著作者隣接権、肖像権、パブリシティ権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 権利処理契約に関する実務(例:ADR、交渉術、権利団体とその交渉窓口、マネジメント事務所、専属実演家契約)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、法務部)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例:コンテンツ開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

契約(2.2.9) B.権利処理

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. コンテンツ開発戦略に沿って、著作権・著作隣接権(著作者人格権を含む)の権利処理(例:専属実演家契約、音源の貸出し、キャラクターの使用)に関する複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
2. 肖像権・パブリシティ権の権利処理に関して複雑な事案の交渉を行い、合意に至った。
3. 契約先との債務不履行／契約条項の解釈をめぐるトラブル(例:ロイヤリティの支払い等)について、契約先と調整を行い、解決に導いた。
4. ライセンス先との交渉の場を設定(例:訴訟提起して交渉テーブルに着かせる等)した。
5. 契約の延長／解消／自動延長の解消等に関して複雑な事案の交渉を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:金額ベースで100万円以上の交渉を成功させた、当事者が三者以上の複雑な権利処理を成功させた、事前に漏れなく権利処理を行うことで紛争無く事業をスムーズに展開した、期間設定を適切に行うことで、長期に渡り著作権ライセンス料を徴収できた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力作品(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 権利処理業務に必要な法律(例:著作権、著作者隣接権、肖像権、パブリシティ権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 権利処理契約に関する実務(例:ADR、交渉術、権利団体とその交渉窓口、マネジメント事務所、専属実演家契約)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:相手方)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:相手方)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、法務部)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例:コンテンツ開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) A.侵害判定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
2. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
3. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。
4. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する

1. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 侵害判定業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 侵害判定に関する実務(例:権利と製品との対比分析によるクレームチャート)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

侵害判定関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) A.侵害判定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
2. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
3. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。
4. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1~2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 侵害判定業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 侵害判定に関する実務(例:権利と製品との対比分析によるクレームチャート)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40~50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

侵害判定関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の基本的な事項を理解することが(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) A.侵害判定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
2. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
3. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。
4. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:行った侵害判定が決め手となり損害賠償請求額を増額(権利行使時)／減額(非権利行使時)させた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 侵害判定業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 侵害判定に関する実務(例:権利と製品との対比分析によるクレームチャート)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

侵害判定関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の専門的な事項を理解することが(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、権利行使のリスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) A.侵害判定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
2. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
3. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。
4. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:行った侵害判定が決め手となり損害賠償請求額を増額(権利行使時)／減額(非権利行使時)させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 侵害判定業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 侵害判定に関する実務(例:権利と製品との対比分析によるクレームチャート)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

侵害判定関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、権利行使のリスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) A.侵害判定

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
2. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての情報収集を適切に行った。
3. 他社(国内)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。
4. 他社(外国)の製品(サービス)と自社権利についての侵害判定(例:対応関係の判断)を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:行った侵害判定が決め手となり損害賠償請求額を増額(権利行使時)／減額(非権利行使時)させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 侵害判定業務に必要な法律(例:知的財産関連法、直接侵害・間接侵害、禁反言、均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 侵害判定に関する実務(例:権利と製品との対比分析によるクレームチャート)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

侵害判定関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、権利行使のリスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) B.侵害警告

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
2. 他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
3. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って侵害警告の利害得失を検討(例:自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)し、対応策(例:侵害警告の可否, 警告後の対策等)を立案した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
5. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
6. 侵害警告に対する相手方からの回答に対して返答を行い、相手方の納得を得た。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 侵害警告業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 侵害警告に関する実務(例:他社の被疑侵害への警告, 証拠資料収集, 関連部門との連携, 回答方法, 回答書の作成)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

侵害警告関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することが(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社の製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:相手方、特許事務所、法律事務所)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) B.侵害警告

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
2. 他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
3. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って侵害警告の利害得失を検討(例:自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)し、対応策(例:侵害警告の可否, 警告後の対策等)を立案した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
5. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
6. 侵害警告に対する相手方からの回答に対して返答を行い、相手方の納得を得た。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 侵害警告業務に必要な法律(例:知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 侵害警告に関する実務(例:他社の被疑侵害への警告, 証拠資料収集, 関連部門との連携, 回答方法, 回答書の作成)の基本的な事項(例:重要なもののみ, 実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

侵害警告関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の基本的な事項を理解することが(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社の製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) B.侵害警告

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
2. 他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
3. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って侵害警告の利害得失を検討(例:自社・相手方の事業状況、自他の利害状況)し、対応策(例:侵害警告の可否、警告後の対策等)を立案した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
5. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
6. 侵害警告に対する相手方からの回答に対して返答を行い、相手方の納得を得た。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:侵害警告に基づく損害賠償請求／ロイヤリティの請求額が当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例:3%)以上の収入を得た、当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例:3%)以上の損害賠償／ロイヤリティの請求額を低減させた、インターネットを通じた侵害コンテンツの提供を停止させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 侵害警告業務に必要な法律(例:知的財産関連法、直接侵害・間接侵害、禁反言、均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 侵害警告に関する実務(例:他社の被疑侵害への警告、証拠資料収集、関連部門との連携、回答方法、回答書の作成)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

侵害警告関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の専門的な事項を理解することが(例:相手方の主張の技術的意義の専門的な事項を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社の製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) B.侵害警告

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
2. 他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
3. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って侵害警告の利害得失を検討(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)し、対応策(例: 侵害警告の可否, 警告後の対策等)を立案した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
5. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
6. 侵害警告に対する相手方からの回答に対して返答を行い、相手方の納得を得た。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 侵害警告に基づく損害賠償請求／ロイヤリティの請求額が当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上の収入を得た, 当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上の損害賠償／ロイヤリティの請求額を低減させた, インターネットを通じた侵害コンテンツの提供を停止させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 侵害警告業務に必要な法律(例: 知的財産関連法, 直接侵害・間接侵害, 禁反言, 均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 侵害警告に関する実務(例: 他社の被疑侵害への警告, 証拠資料収集, 関連部門との連携, 回答方法, 回答書の作成)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

侵害警告関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社の製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を正しく(例: 80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例: 80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) B.侵害警告

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
2. 他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する警告を行うための有力な証拠資料を収集した。
3. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って侵害警告の利害得失を検討(例: 自社・相手方の事業状況、自他の利害状況)し、対応策(例: 侵害警告の可否、警告後の対策等)を立案した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(国内)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
5. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、他社(外国)の被疑侵害製品(サービス)に対する適切な侵害警告を行った。
6. 侵害警告に対する相手方からの回答に対して返答を行い、相手方の納得を得た。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 侵害警告に基づく損害賠償請求／ロイヤリティの請求額が当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上の収入を得た、当該担当製品年間売上上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上の損害賠償／ロイヤリティの請求額を低減させた、インターネットを通じた侵害コンテンツの提供を停止させた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 侵害警告業務に必要な法律(例: 知的財産関連法、直接侵害・間接侵害、禁反言、均等論等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 侵害警告に関する実務(例: 他社の被疑侵害への警告、証拠資料収集、関連部門との連携、回答方法、回答書の作成)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

侵害警告関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社の製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例: 英語)の情報を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例: 90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 部門内)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 部門内)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 部門内)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 部門内)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) C.国内訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 国内訴訟を進行/対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って国内訴訟提起の利害得失(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された国内訴訟(例: 侵害訴訟、発明対価訴訟)への対応の検討/分析/評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟全般を関係者(例: 経営層, 発明者)と連携して適切な進行/対応/支援/管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、国内訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 国内訴訟に関する経営層/株主に対する説明の情報整理/資料作成/対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 国内訴訟業務に必要な法律(例: 民法, 民事訴訟法, 知的財産法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 労働法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 国内訴訟に関する実務(例: 提訴前準備, 訴訟手続, 準備手続, 和解交渉手法, 職務発明対価算定実務, 証拠資料収集, 証拠方法の選択)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している(例: 先行技術、発明完成過程、製品における当該発明の貢献度を考慮した技術に関する議論ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

国内訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することが(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所, 法務部門, 対価請求訴訟の場合の人事総務部門)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) C.国内訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 国内訴訟を進行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って国内訴訟提起の利害得失(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された国内訴訟(例: 侵害訴訟、発明対価訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟全般を関係者(例: 経営層, 発明者)と連携して適切な進行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、国内訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 国内訴訟に関する経営層／株主に対する説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内訴訟業務に必要な法律(例: 民法, 民事訴訟法, 知的財産法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 労働法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 国内訴訟に関する実務(例: 提訴前準備, 訴訟手続, 準備手続, 和解交渉手法, 職務発明対価算定実務, 証拠資料収集, 証拠方法の選択)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している(例: 先行技術、発明完成過程、製品における当該発明の貢献度を考慮した技術に関する議論ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

国内訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の基本的な事項を理解することが(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所, 法務部門, 対価請求訴訟の場合の人事総務部門)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) C.国内訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 国内訴訟を進行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って国内訴訟提起の利害得失(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された国内訴訟(例: 侵害訴訟、発明対価訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟全般を関係者(例: 経営層, 発明者)と連携して適切な進行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、国内訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 国内訴訟に関する経営層／株主に対する説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た, 被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた, 不競法訴訟／独禁法訴訟／確認訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た, 職務発明対価訴訟案件について、実績補償支払額を大幅に上回らない範囲内の判決／和解を得た)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 先輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 国内訴訟業務に必要な法律(例: 民法, 民事訴訟法, 知的財産法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 労働法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 国内訴訟に関する実務(例: 提訴前準備, 訴訟手続, 準備手続, 和解交渉手法, 職務発明対価算定実務, 証拠資料収集, 証拠方法の選択)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している(例: 先行技術、発明完成過程、製品における当該発明の貢献度を考慮した技術に関する議論ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

国内訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の専門的な事項を理解することが(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所, 法務部門, 対価請求訴訟の場合の人事総務部門)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) C.国内訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 国内訴訟を進行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って国内訴訟提起の利害得失(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された国内訴訟(例: 侵害訴訟、発明対価訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟全般を関係者(例: 経営層, 発明者)と連携して適切な進行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、国内訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 国内訴訟に関する経営層／株主に対する説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た, 被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた, 不競法訴訟／独禁法訴訟／確認訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た, 職務発明対価訴訟案件について、実績補償支払額を大幅に上回らない範囲内の判決／和解を得た)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 国内訴訟業務に必要な法律(例: 民法, 民事訴訟法, 知的財産法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 労働法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 国内訴訟に関する実務(例: 提訴前準備, 訴訟手続, 準備手続, 和解交渉手法, 職務発明対価算定実務, 証拠資料収集, 証拠方法の選択)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 先行技術、発明完成過程、製品における当該発明の貢献度を考慮した技術に関する議論ができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

国内訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所, 法務部門, 対価請求訴訟の場合の人事総務部門)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) C.国内訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 国内訴訟を進行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って国内訴訟提起の利害得失(例: 自社・相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された国内訴訟(例: 侵害訴訟、発明対価訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟全般を関係者(例: 経営層, 発明者)と連携して適切な進行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、国内訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 国内訴訟に関する経営層／株主に対する説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た, 被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた, 不競法訴訟／独禁法訴訟／確認訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た, 職務発明対価訴訟案件について、実績補償支払額を大幅に上回らない範囲内の判決／和解を得た)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 国内訴訟業務に必要な法律(例: 民法, 民事訴訟法, 知的財産法, 不正競争防止法, 独占禁止法, 労働法等)・法改正情報・判例の高度に専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 国内訴訟に関する実務(例: 提訴前準備, 訴訟手続, 準備手続, 和解交渉手法, 職務発明対価算定実務, 証拠資料収集, 証拠方法の選択)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 先行技術、発明完成過程、製品における当該発明の貢献度を考慮した技術に関する議論ができる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる

④技術

国内訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 特許事務所, 法律事務所, 法務部門, 対価請求訴訟の場合の人事総務部門)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 事業部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) D.外国訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 外国訴訟を進行/対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って外国訴訟提起の利害得失(例: 自社/相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された外国訴訟(例: 侵害訴訟)への対応の検討/分析/評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟手続を関係者(例: 現地弁護士)と連携して適切な進行/対応/支援/管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、外国訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 外国訴訟に関する株主総会における説明の情報整理/資料作成/対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 外国訴訟業務に必要な法律(例: 当該国の知的財産関連法, 訴訟関連法, 不正競争防止法, 独占禁止法等)・制度・法改正情報・判例(例: マークマン判決)の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 外国訴訟に関する実務(例: 裁判制度, 訴訟前準備, 訴訟手続, 公判手続, 訴訟関連費用, 和解交渉・M&A・アライアンス等の戦略オプション)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

外国訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することが(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 海外代理人, 相手方, 法務部門, 現地法人)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 他部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) D.外国訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 外国訴訟を追行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って外国訴訟提起の利害得失(例: 自社／相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された外国訴訟(例: 侵害訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟手続を関係者(例: 現地弁護士)と連携して適切な追行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、外国訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 外国訴訟に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国訴訟業務に必要な法律(例: 当該国の知的財産関連法, 訴訟関連法, 不正競争防止法, 独占禁止法等)・制度・法改正情報・判例(例: マークマン判決)の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 外国訴訟に関する実務(例: 裁判制度, 訴訟前準備, 訴訟手続, 公判手続, 訴訟関連費用, 和解交渉・M&A・アライアンス等の戦略オプション)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

外国訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の基本的な事項を理解している(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例: 50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 海外代理人, 相手方, 法務部門, 現地法人)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 他部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) D.外国訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 外国訴訟を追行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って外国訴訟提起の利害得失(例: 自社／相手方の事業状況、自他の利害状況を検討し、提起された外国訴訟(例: 侵害訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った)。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟手続を関係者(例: 現地弁護士)と連携して適切な追行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、外国訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 外国訴訟に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た、被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた、ITC請求／不競法訴訟／独禁法訴訟等の訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 外国訴訟業務に必要な法律(例: 当該国の知的財産関連法、訴訟関連法、不正競争防止法、独占禁止法等)・制度・法改正情報・判例(例: マークマン判決)の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 外国訴訟に関する実務(例: 裁判制度、訴訟前準備、訴訟手続、公判手続、訴訟関連費用、和解交渉・M&A・アライアンス等の戦略オプション)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

外国訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の専門的な事項を理解することが(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を概ね(例: 60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例: 60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 海外代理人、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 他部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係、事業への影響、訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) D.外国訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 外国訴訟を追行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って外国訴訟提起の利害得失(例: 自社／相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された外国訴訟(例: 侵害訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟手続を関係者(例: 現地弁護士)と連携して適切な追行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、外国訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 外国訴訟に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た, 被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた, ITC請求／不競法訴訟／独禁法訴訟等の訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 外国訴訟業務に必要な法律(例: 当該国の知的財産関連法, 訴訟関連法, 不正競争防止法, 独占禁止法等)・制度・法改正情報・判例(例: マークマン判決)の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 外国訴訟に関する実務(例: 裁判制度, 訴訟前準備, 訴訟手続, 公判手続, 訴訟関連費用, 和解交渉・M&A・アライアンス等の戦略オプション)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

外国訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を正しく(例: 80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例: 80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 海外代理人, 相手方, 法務部門, 現地法人)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 他部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) D.外国訴訟

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 外国訴訟を追行／対応するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って外国訴訟提起の利害得失(例: 自社／相手方の事業状況, 自他の利害状況)を検討し、提起された外国訴訟(例: 侵害訴訟)への対応の検討／分析／評価を行った。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、準備手続、公判準備等の訴訟手続を関係者(例: 現地弁護士)と連携して適切な追行／対応／支援／管理を行った。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、外国訴訟に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 外国訴訟に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。
6. 上記について、適切な弁護士等を選定し、協働して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 損害賠償請求訴訟／ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する金額の一定額(例: 3%)以上を得た, 被損害賠償請求／被ロイヤリティ請求訴訟の場合に当該製品の売上の権利対象部分に相当する一定額(例: 3%)以上を低減させた, ITC請求／不競法訴訟／独禁法訴訟等の訴訟案件について勝訴／有利な和解を得た)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 外国訴訟業務に必要な法律(例: 当該国の知的財産関連法, 訴訟関連法, 不正競争防止法, 独占禁止法等)・制度・法改正情報・判例(例: マークマン判決)の高度に専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌／学会論文レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 外国訴訟に関する実務(例: 裁判制度, 訴訟前準備, 訴訟手続, 公判手続, 訴訟関連費用, 和解交渉・M&A・アライアンス等の戦略オプション)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

外国訴訟関連業務に必要な技術(例: 他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例: 90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 海外代理人, 相手方, 法務部門, 現地法人)と連携し、協働できる(例: 担当弁護士に自己の見解とその理由を明確に伝達できる)。
4. 関係者(例: 他部門)に分かりやすく説明できる(例: 製品の対応関係, 事業への影響, 訴訟リスク)。
5. 関係者(例: 相手方)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) E.模倣品排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 模倣品排除を実行するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って模倣品排除を実行する利害得失について検討を行い、対応を分析/評価した。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除を関係者(例:関係行政機関、税関、現地弁護士)と連携して適切に追行/対応した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 模倣品排除に関する株主総会における説明の情報整理/資料作成/対応を適切に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 模倣品排除業務に必要な法律(例:関税定率法、条約、当該国の知的財産法、不正競争防止法、訴訟関連法、輸出入差止制度、刑法等)・制度・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 模倣品排除に関する実務(例:模倣品発見調査手法、模倣者追跡調査手法、税関等の行政機関との連携、民事・刑事訴追手続、関連費用、和解交渉等)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

模倣品排除関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門、税関等の行政機関)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) E.模倣品排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 模倣品排除を実行するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って模倣品排除を実行する利害得失について検討を行い、対応を分析／評価した。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除を関係者(例:関係行政機関、税関、現地弁護士)と連携して適切に追行／対応した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 模倣品排除に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 模倣品排除業務に必要な法律(例:関税定率法、条約、当該国の知的財産法、不正競争防止法、訴訟関連法、輸出入差止制度、刑法等)・制度・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 模倣品排除に関する実務(例:模倣品発見調査手法、模倣者追跡調査手法、税関等の行政機関との連携、民事・刑事訴追手続、関連費用、和解交渉等)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

模倣品排除関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門、税関等の行政機関)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) E.模倣品排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 模倣品排除を実行するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って模倣品排除を実行する利害得失について検討を行い、対応を分析／評価した。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除を関係者(例:関係行政機関、税関、現地弁護士)と連携して適切に追行／対応した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 模倣品排除に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:担当製品に関する模倣品の輸出入を水際で止めた)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 模倣品排除業務に必要な法律(例:関税定率法、条約、当該国の知的財産法、不正競争防止法、訴訟関連法、輸出入差止制度、刑法等)・制度・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 模倣品排除に関する実務(例:模倣品発見調査手法、模倣者追跡調査手法、税関等の行政機関との連携、民事・刑事訴追手続、関連費用、和解交渉等)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

模倣品排除関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく概ね(例:60～70%程度)伝達(例:80%程度)することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門、税関等の行政機関)に分かりやすく説明できる(例:専門用語をわかりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方、税関等の行政機関)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、リスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) E.模倣品排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 模倣品排除を実行するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って模倣品排除を実行する利害得失について検討を行い、対応を分析／評価した。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除を関係者(例:関係行政機関、税関、現地弁護士)と連携して適切に追行／対応した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 模倣品排除に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:担当製品に関する模倣品の輸出入を水際で止めた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 模倣品排除業務に必要な法律(例:関税定率法、条約、当該国の知的財産法、不正競争防止法、訴訟関連法、輸出入差止制度、刑法等)・制度・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 模倣品排除に関する実務(例:模倣品発見調査手法、模倣者追跡調査手法、税関等の行政機関との連携、民事・刑事訴追手続、関連費用、和解交渉等)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

模倣品排除関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門、税関等の行政機関)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方、税関等の行政機関)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、リスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

エンフォースメント(2. 2. 10) E.模倣品排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 模倣品排除を実行するための有力な証拠資料を収集した。
2. 証拠資料に基づき、企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って模倣品排除を実行する利害得失について検討を行い、対応を分析／評価した。
3. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除を関係者(例:関係行政機関、税関、現地弁護士)と連携して適切に追行／対応した。
4. 企業戦略・事業戦略・知的財産戦略・販売戦略に沿って、模倣品排除に関するマスコミ対応を適切に行った。
5. 模倣品排除に関する株主総会における説明の情報整理／資料作成／対応を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:担当製品に関する模倣品の輸出入を水際で止めた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 模倣品排除業務に必要な法律(例:関税定率法、条約、当該国の知的財産法、不正競争防止法、訴訟関連法、輸出入差止制度、刑法等)・制度・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 模倣品排除に関する実務(例:模倣品発見調査手法、模倣者追跡調査手法、税関等の行政機関との連携、民事・刑事訴追手続、関連費用、和解交渉等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

模倣品排除関連業務に必要な技術(例:他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国案件の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:海外代理人、税関等の行政機関、相手方、法務部門、現地法人)と連携し、協働できる。
4. 関係者(例:他部門、税関等の行政機関)に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方、税関等の行政機関)を納得させることができる(例:製品の対応関係、事業への影響、リスク)。
6. 関係者(例:事業部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) A.定量評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産権の主として定量面(例:経済的価値, ライセンス対価, 実績補償金額, 譲渡価格等)の評価方法に関する情報収集/企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定量面の評価に関連するシステムの選定/導入/構築/評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定量的価値(例:期待収益率等)を適切に算定/評価し、報告書作成を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 定量評価業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 定量評価に関する実務(例:各種評価手法, 各種価値評価ツール)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

定量評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2. 2. 11) A. 定量評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産権の主として定量面(例: 経済的価値, ライセンス対価, 実績補償金額, 譲渡価格等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定量面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定量的価値(例: 期待収益率等)を適切に算定／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 定量評価業務に必要な法律(例: 知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 定量評価に関する実務(例: 各種評価手法, 各種価値評価ツール)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

定量評価関連業務に必要な技術(例: 担当案件の技術的意義)の基本的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) A.定量評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産権の主として定量面(例:経済的価値、ライセンス対価、実績補償金額、譲渡価格等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定量面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定量的価値(例:期待収益率等)を適切に算定／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:M&A／事業統合等に際して知的財産部分に関する価値評価の結果が事業に大きく貢献した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 定量評価業務に必要な法律(例:知的財産法、税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 定量評価に関する実務(例:各種評価手法、各種価値評価ツール)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

定量評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) A.定量評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産権の主として定量面(例:経済的価値、ライセンス対価、実績補償金額、譲渡価格等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定量面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定量的価値(例:期待収益率等)を適切に算定／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:M&A／事業統合等に際して知的財産部分に関する価値評価の結果が事業に大きく貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 定量評価業務に必要な法律(例:知的財産法、税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 定量評価に関する実務(例:各種評価手法、各種価値評価ツール)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

定量評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) A.定量評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産権の主として定量面(例:経済的価値、ライセンス対価、実績補償金額、譲渡価格等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定量面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定量的価値(例:期待収益率等)を適切に算定／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:M&A／事業統合等に際して知的財産部分に関する価値評価の結果が事業に大きく貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 定量評価業務に必要な法律(例:知的財産法、税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 定量評価に関する実務(例:各種評価手法、各種価値評価ツール)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

定量評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) B.定性評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 知的財産権の主として定性面(例:技術評価, 権利の有効性, ベンチマーク, 知財価値の経年変化等)の評価方法に関する情報収集/企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定性面の評価に関連するシステムの選定/導入/構築/評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定性的価値(例:コアとなる基本特許, キャラクターのヒット性等)を適切に算定(例:期待収益率の算出等)/評価し、報告書作成を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 定性評価業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 定性評価に関する実務(例:各種評価手法, 各種価値評価ツール)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

定性評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の初歩的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2. 2. 11) B.定性評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 知的財産権の主として定性面(例:技術評価, 権利の有効性, ベンチマーク, 知財価値の経年変化等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定性面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定性的価値(例:コアとなる基本特許, キャラクターのヒット性等)を適切に算定(例:期待収益率の算出等)／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 定性評価業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 定性評価に関する実務(例:各種評価手法, 各種価値評価ツール)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

定性評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の基本的な事項を理解している。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) B.定性評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 知的財産権の主として定性面(例:技術評価, 権利の有効性, ベンチマーク, 知財価値の経年変化等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定性面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定性的価値(例:コアとなる基本特許, キャラクターのヒット性等)を適切に算定／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:知財価値のベンチマークを行い、自社の特許ポジションの評価ができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 定性評価業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 定性評価に関する実務(例:各種評価手法, 各種価値評価ツール)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

定性評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) B.定性評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 知的財産権の主として定性面(例:技術評価、権利の有効性、ベンチマーク、知財価値の経年変化等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定性面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定性的価値(例:コアとなる基本特許、キャラクターのヒット性等)を適切に算定(例:期待収益率の算出等)／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:知財価値のベンチマークを行い、自社の特許ポジションの評価ができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 定性評価業務に必要な法律(例:知的財産法、税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 定性評価に関する実務(例:各種評価手法、各種価値評価ツール)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

定性評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) B.定性評価

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 知的財産権の主として定性面(例:技術評価, 権利の有効性, ベンチマーク, 知財価値の経年変化等)の評価方法に関する情報収集／企画の立案を成功裡に行った。
2. 自社の事業・規模に適した知的財産権の定性面の評価に関連するシステムの選定／導入／構築／評価を成功裡に行った。
3. 知的財産権の主として定性的価値(例:コアとなる基本特許, キャラクターのヒット性等)を適切に算定(例:期待収益率の算出等)／評価し、報告書作成を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:知財価値のベンチマークを行い、自社の特許ポジションの評価ができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査の立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 定性評価業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 定性評価に関する実務(例:各種評価手法, 各種価値評価ツール)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

定性評価関連業務に必要な技術(例:担当案件の技術的意義)の専門的又は広範かつ統合的な事項を理解することができる。

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2. 2. 11) C.棚卸

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の企画を立案/方針の作成を成功裡に行った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄を適切に行った(少なくとも事業部門単位以上)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけを理解している。

②法律

1. 棚卸業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 棚卸に関する実務(例:権利活用状況の把握, 技術トレンド, ビジネストrend)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2. 2. 11) C.棚卸

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の企画を立案／方針の作成を成功裡に行った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄を適切に行った(少なくとも事業部門単位以上)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 棚卸業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 棚卸に関する実務(例:権利活用状況の把握, 技術トレンド, ビジネストrend)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2. 2. 11) C.棚卸

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の企画を立案／方針の作成を成功裡に行った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄を適切に行った(少なくとも事業部門単位以上)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:保有する知的財産権のバランスを考慮し適切に棚卸を実施することによって、コストを大幅に低減させた。)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 棚卸業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 棚卸に関する実務(例:権利活用状況の把握, 技術トレンド, ビジネストrend)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) C.棚卸

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の企画を立案／方針の作成を成功裡に行った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄を適切に行った(少なくとも事業部門単位以上)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 保有する知的財産権のバランスを考慮し適切に棚卸を実施することによって、コストを大幅に低減させた。)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 棚卸業務に必要な法律(例: 知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 棚卸に関する実務(例: 権利活用状況の把握, 技術トレンド, ビジネストrend)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類似のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

価値評価(2.2.11) C.棚卸

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の企画を立案／方針の作成を成功裡に行った。
2. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄方針の現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 事業戦略・知的財産戦略に沿って、保有する産業財産権の権利維持・放棄を適切に行った(少なくとも事業部門単位以上)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:保有する知的財産権のバランスを考慮し適切に棚卸を実施することによって、コストを大幅に低減させた。)[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけを理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営／事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 棚卸業務に必要な法律(例:知的財産法, 税法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 棚卸に関する実務(例:権利活用状況の把握, 技術トレンド, ビジネストrend)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

⑥対人

1. 関係者から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:関連部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者を納得させることができる。
6. 関係者から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。